

《担当者名》永野 善廣（非）

【概要】

「我思う、ゆえに我あり」のデカルト、「法の精神」のモンテスキュー、啓蒙主義のヴォルテール、「存在と無」のサルトル、「表徴の帝国」のロラン・バルト、EU設立の立役者のジャンモネ等々枚挙に遑がないほどの逸材をフランスは輩出した。フランスは合理性を重んじる思想・文化大国である。お隣のジュネーブ（スイス）・フランス語圏からは「社会契約論」のジャン=ジャック・ルソーや構造主義に圧倒的な影響を与えた言語・記号学のソシュールが出ている。「自由・平等・人権」は言うに及ばず、フランスが打ち出した現代的価値観は今も世界に影響を与え続けている。他方、フランスというとファッションやワイン等の食文化で知られ、「男と女」「個人教授」等数々の名作を世に問うている。フランス語の修得を通して、邦訳ではなく直接フランス語でフランス文化の包容力に接近する。そのためには論理的なフランス語文法の理解が必須条件となる。

【学修目標】

1. 発音のスキルを身につけることができる。
2. 基本文法をしっかりとおさえたいうえで、ワンランク上の文法にチャレンジする。
3. 話せるフランス語力を身につけることができる。具体的には、「ご気分はいかがですか?」「どこが痛いですか?」「次回のアPOINTメントは来週の～ 曜日です」「ご出身はどちらですか?」「書類に不備はありませんか?」というような文を躊躇なくいえるようにする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	発音の復習	フランス語特有の母音、子音、鼻音を発音できるようになる。	永野
2	「いいえ。わたしはフランス語はちょっと話しますよ」 副詞と前置詞の復習。	微妙な肯定文と否定文を作ることができる。フランス語特有の数の数え方、季節の言い方をスムーズに言うことができる。	永野
3	第一群規則動詞、第二群規則動詞、第三群（不規則）動詞 主に第1文型を復習する。	aimer, aller, finir, prendre等主要動詞の活用をマスターし、フランス語の表現領域を広げることができる。	永野
4	冠詞の全体像を把握する。 主に第2文型と第3文型を復習する。	否定文と冠詞の関係を理解し、冠詞を正しく使うことができる。	永野
5	面倒な活用を避ける時制 近接過去と近接未来	近い過去に起きた事と近い未来に起きる事を表現できる。	永野
6	準助動詞	準助動詞を理解し、微妙なニュアンスを表現できる。	永野
7	「比較級」	「比較」のポイント（形容詞と副詞と名詞）をおさえ、比較表現ができる。	永野
8	前置詞と前置詞句	前置詞句が示す限定関係の理解を深め、適切な表現ができる。	永野
9	複合過去1)	時制の中でも特に頻繁に使う複合過去を使いこなすことができる。助動詞êtreを使う複合過去形を学ぶ。	永野
10	複合過去2)	助動詞avoirを使う複合過去形を学ぶ。	永野
11	所有形容詞 代名動詞	相手の名前を聞くことができ、自己紹介ができるようになる。「あなたの名前はなんというのですか?」	永野
12	接続詞	接続詞のqueを学ぶことで表現の幅を広げることができる。	永野
13	疑問形容詞と非人称主語	「何時ですか?」等の時間の聞き方ができるようになる。	永野
14	代名動詞の復習と自己紹介	「わたしは散歩します」「わたしは～といます」という言い方をマスターする。	永野
15	総復習	基礎会話ができるようになる。	永野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 90%（ただし、ノートのみ持ち込み可） 平常点 10%

【教科書】

随時プリントを配布するので、特定の教科書は用いない。

【参考書】

特になし。

【備考】

辞書の購入（種類は問わない）。

【学修の準備】

内容が分からなくとも、インターネット等を利用して、普段からフランス語に接するように心がける。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5,4